

日記をつけていたり、文部省の研究員として在学中の読書。

昭和二一(一九四六)・一

白山神社宮司となる。

フローラニア・ナ
ヨーロッパ語研究ノゼ
大正 四(一九一五)・六 東京帝国大学文科大学史学科入学。

昭和五九(一九八四)
二月一八日死去。

○いや、あれは専門教育機関で大学ではありません。
平泉 大学はどこにあつたのですか。

た。それは大学なんですよ。大学と言つておつた。その証拠がある
んです。あれが大学であつて、職員も大学の何々と称したんです。

○松平春岳公の終りというのはわからないですね。

常ににつきりしている。

平泉 看岳公が終りではなく、大学が終わってたんですね。それは国

学と漢学のけんかなんです。わしみたいな感じの強いのがいたんだ

といふとか、私がまだ明確に土地を押えておらないのは、ここへ移

つてくる前が上野の忍ヶ岡に林家の学校があつたでしょう。その場

（ナニシ
二年一月廿一、三月十九日）
となんです。というのは、持てばみんな指紋が付く。これはここのお宮の宝物でもみんなそうで、みんなにさわられると物が傷んでしまいます。さわらないことがひとつ。私は仕方ない、さわります。

それがみんなに非常な印象を与えておったのがもとだらうと思いまが、どういうものか私が“名残りの銀時計”ということになつて、これが何かとすると新聞に出るんです。妙に私だけ残つたがそ

列に優等学生というのがずっと並ぶ。各学部で文学部は文学部、法

これは卒業証書です。

のたゞのよきとて、さう こうづき合ふとしむよし。日本は歴史など、て
非常に大きな関係のある出来事で、これを理解しないでは日本の大

ことに筆を書く。それからあとは洋紙にペンで書く。

平泉 実にこれは、あなたがいいことばを言ったが檄文ですわ。

がなくなってきた。大学の卒業式などでもそうですよ。押し切って

かつたですよ。男子学生もたじたじとするほどの人物がそろつてい
て、偉かつたですね。時代の当然の流れであるが、当然の流れとい

このふ ゃにレーマー夫人考セリ」とさだじのアカナシ 佐々 池川わる

「アラタナヒトヨウ

○ユネスコ賞受賞でなく、田中生ですわ

平泉 そうですかいな、よく私は知らんが。

(続く)